

No. 101

製品名		IPL						国連番号		1962					
化学名		IPL						SAMPLE							
該当法法規対応・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法			道路法			
類 別						指定可燃物	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 ガ ス 圧 ス	液 化 石 油 ガ ス	施行令 第19条 の12、13		
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
特 性	危 険 性			有 害 性					環 境 汚 染 性		性 状				
	禁水性	爆発性	可燃性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性			
				常温	可燃時 火災時	水に 接触									
		●	●											●	

事故発生時の応急処置

- ① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ 火気厳禁。エンジンの熱や火花は着火源になる。
- ④ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。
- ⑤ 風上より、消火、漏れ止め、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置を行う。
- ⑥ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。

緊急通報

119(消防署)・110(警察署)・高速道路の非常電話

{緊急通報例}

1. いつ ○○時○○分頃
2. どこで ○○市○○地区(国、県、市)道○○号線○○付近で
3. なにが 『エチレンガス(高圧ガス、可燃性)』が
4. どうした 漏れています。/漏れて火災になっています。
5. ケガ人は ケガ人がいます。(救急車をお願いします)/けが人はいません。
6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です。

緊急連絡

荷送会社		運送会社	
住 所		住 所	
電 話	平日・昼間	電 話	平日・昼間
	休日・夜間		休日・夜間

製品名	エチレン	国連番号	1962
化学名	エチレン	SAMPLE	

災害拡大防止措置

<漏えいしたとき>

- ① 通風を良くして、ガスが滞留しないようにする。
- ② 防災工具を用い、風上より容器バルブ又は漏えいしついる部分を静かに増し締めし、漏れを止める。ガス取出口から漏えいしているときは、パッキン及び口金キャップを取り付ける。
- ③ 漏れがとまらないときは、着火源を避け、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。

<周辺火災のとき>

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動することが不可能な場合は、容器の破損防止のために容器及び周囲に散水する。

<引火・発火したとき>

- ① 近くに着火源がなくガスが滞留しない場所で、風上より消火し、漏えい防止措置を施す。
- ② 容器の温度が高い場合は、発火している容器及び周囲の容器に噴霧散水した後、周囲の容器を安全な場所に移動する。
- ③ 周囲及び漏えい状況から判断して、消火するとかえって危険性が増すと考えられるとき等は、火災の拡大・類焼を防止するための、周囲に噴霧散水しながら、容器内のガスがなくなるまで、燃焼させる。

<救急処置>

- ① 火傷の場合は、きれいな水や氷で患部を冷やす。ショック状態の場合は頭を低くして寝かせ、暖める。
- ② 多量に吸入した場合は、直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。
- ④ 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。

特記事項

- ① ガスは漏えいした場合、空気中の濃度が3.1%を超えると、火災や爆発の危険が生じるので、ガスを覆っているシート内に滞留しないよう注意する。空気より軽いガスで、漏れると上部に滞留する。
- ② 容易に着火するため、火災だけでなく、高熱物、化繊材の服の静電気や工具使用時の着火源にも注意が必要である。
- ③ 容器内充圧力 : 35°Cで14.7MPa (150kg/cm²) [ゲージ圧力] 以下
爆発範囲 : 3.1~32% (空気中)
相対密度(ガス比重) : 0.98(空気を1とする。空気よりやや軽い。)
色・臭い : 無色・オレフィン臭(かすかの甘い臭い)
容器外面の塗色 : ねずみ色